

語気助詞「啊 (a)」による共有知識の提示—疑問文末用法を中心に—

王 瓊*

東京大学人文社会系研究科

This paper discusses some issues related to the most widely used utterance particle "啊(a)" in Modern Chinese, focusing on its sentence-final uses in interrogative sentences. Drawing on the following four behavioral traits of this particle: 1. It frequently appears in wh-questions; 2. It has a preference for rhetorical questions; 3. It often serves the same function as Japanese "noda"; 4. It is rarely used in quiz shows, I argue that the use of this particle in interrogative sentences indicates that some information shared by the interlocutors is in focus.

現代中国語の「啊 (a)」は語気助詞の中で最も広く使われ、疑問文末にも用いられるが、従来の解釈では、以下のような言語事実を説明できない。①語気助詞「啊 (a)」は特定疑問文とよく共起する。②「啊 (a)」が反語文との相性がよい。③日本語の「ノダ」文と対応する。④クイズ番組における「啊 (a)」の出現率が非常に低い。本稿では、このような言語事実には、話し手と聞き手の間の「共有知識」が存在することと、話し手がその「共有知識」を提示することが関係していると主張する。

1. はじめに

現代中国語には「語気詞」または「語気助詞」と呼ばれる品詞があり、話し言葉の表現によく用いられる。朱 (1982) によれば、語気助詞は常に軽声で発音される後置虚詞であり、機能の面からは以下の三つに分類される。

(1) 主な働きによる語気助詞の分類 (朱 1982)

I 類：アスペクトを表すもの

了 2 (le) 呢 1 (ne) 来着 (láizhe)

II 類：疑問または命令を表すもの

呢 2 (ne) 吗 (ma) 吧 1 (ba) 吧 2 (ba)

III 類：話し手の態度もしくは感情を表すもの

啊 (a) 呕 (ou) 欸 (ei) 嘿 (hei) 呢 3 (ne)

そのうち、III類に分類される「啊 (a)」は、文中でも文末でも使用でき、語気助詞の中で最も広く使われる。「啊 (a)」は平叙文、命令文、疑問文すべての文末に用いることができる¹。本稿では、このIII類語気助詞「啊 (a)」の疑問文末用法に注目し、コーパスを用いて日本語の対応表現と比較対照しながら分析を試みる。

¹ しかし、「啊 (a)」各タイプの文と共起する割合は均等なものではない。王 (2013) の記述にあるように、平叙文と共起する割合が非常に高いのに対して、命令文との組み合わせはとても少ない。

*Email: wangqiongcarolyn@yahoo.co.jp

2. 疑問文末の語気助詞「啊 (a)」

呂 (1980)、朱 (1982) などによれば、疑問文に用いられた語気助詞の「啊 (a)」は、疑問の意味を表すわけではない。特定疑問文 (疑問詞のある疑問文) と選択疑問文²では、それをを用いると、語気 (口調) を和らげることができるといわれる。例えば、例文 (2) は特定疑問文であり、例文 (3) は選択疑問文に当たる。

(2) 你 是 打 哪 儿 来 的 啊?
 あなた だ から どこ 来る の a³
 (どこから来たの?) <呂 (1980) >⁴

(3) 你 骑 车 还 是 走 路 啊?
 あなた 自転車に乗る それとも 歩く a
 (君は自転車に乗る?それとも歩くの?) <朱 (1995) >

当否疑問文においては、日本語の「か」にあたる文末に「吗 (ma)」が一般的に使われ、疑問の意味を表すが、その代わりに「啊 (a)」を用いると、相手の意向などを確かめる意味になる。例えば、例文 (4) を用いることで聞き手に「一緒に行くかどうか」を尋ねるのに対して、例文 (4') の場合に聞き手の「一緒に行く」という既定の意向が確認されることになる。

(4) 你 想 跟 我 们 一 块 儿 去 吗?
 あなた ~たい と 私たち 一緒に 行く ma
 (君は私たちと一緒にいきたい?) <朱 (1995) >

(4') 你 想 跟 我 们 一 块 儿 去 啊?
 あなた ~たい と 私たち 一緒に 行く a
 (君は私たちと一緒にいきたいの?) <朱 (1995) >

例文 (4) を用いることで聞き手に「一緒に行くかどうか」を尋ねるのに対して、例文 (4') の場合には聞き手の「一緒に行く」という意向が確認されることになる。

しかし、上記の解釈では説明できない言語事実が存在する。

2.1 語気助詞「啊 (a)」は特定疑問文とよく共起する

実際の使用を観察するために BJKY コーパス⁵からその中から 1960 年代と 1970 年代

² 朱 (1995) によれば、選択疑問文は複数の項目を並列させ、回答者にそのうちの一つを選択させるものである。文末に語気助詞の「呢 (ne)」、「啊 (a)」を加えることができるが、「吗 (ma)」を加えることはできない。選択疑問文の中には、述語の肯定形と否定形を選択項目として並列させる特殊なタイプのものがある。例えば、「你去不去 (啊)? (きみは行く、行かない (かな)?)」のような例がある。このタイプの選択疑問文は正反疑問文とも呼ばれる。本稿では正反疑問文もまとめて「選択疑問文」と呼ぶことにする。

³ 語気助詞のグロスに中国語発音表記のピンインを用いる。

⁴ 例文の出处を表示するに“<>”を用いる。中国語で書かれた先行研究から例文を引用した場合にはグロスと日本語訳を付けることにする。

生まれの話者による発話データを取り出し⁶、さらに語気助詞の使用例のみを抽出して分析を行った。例えば、以下のような例文がある。例文 (5)、(6)、(7) はそれぞれ特定疑問文、選択疑問文⁷、当否疑問文に当たる。

(5) 反正 不 说话, 生气了 就是。 呆会儿 你 要
 どうせない 話す 怒った まさに しばらく あなた 必要
 说：“ 哎呀, 爸 您 怎么 不 言声 啊？”
 いう あら お父さん あなた どうして ない 声を出す a
 (どうせ何にも言わずに怒っているんだ。「あら、お父さん、どうして何にも言わないの?」って、あとでそう言って。) <BJKY コーパス>

(6) 我们 商店 谁 买了, 我们 就 去 问。我们
 私たち 売店 誰 買った 私たち すぐ 行く 聞く私たち
 就 问 说：“ 这 好吃 不 好吃 啊? 刺
 まさに 聞く いう これ 美味しい ない 美味しい a 骨
 多 不 多 呀?” 完了, 他们 就 告诉 我。
 多い ない 多い ya 終わった 彼ら すぐ 教える 私
 (うちの売店で買った人に聞きに行く。「これおいしいのか、おいしくないのか? 骨が多いのか、少ないのか」と。そうすると、彼らが教えてくれる。) <BJKY コーパス>

(7) 所以 说 呢 交通事故 太 多。 昨天 我 看 那
 だから いう ne 交通事故 とても 多い 昨日 私 見る その
 报纸 是 前天 的 报纸 啊? 上半年 北京市 死 于 交通事故
 新聞 だ 一昨日 の 新聞 a 上半期 北京市 死ぬで 交通事故
 的 三百二十五人。
 の 三百二十五人
 (だからね、交通事故が多すぎるんだよ。昨日私が見てた新聞は一昨日のものなのかな? 今年上半期、北京市において交通事故で三百二十人亡くなっているって。) <BJKY コーパス>

しかし、この三種類の疑問文は均等に分布しているわけではない。例えば下記の表 (8) では、「啊 (a)」の有無にかかわらず、選択疑問文や当否疑問文に比べて特定疑問文が高い使用比率を示していることが分かる。ここで「啊 (a)」との共起の

⁵北京語の口語表現 (北京口語 (beijingkouyu: BJKY) を主として扱うものであり、1980 年代に資料収集が行われ、21 世紀に入ってから再整理が実施されたコーパスである。

http://www.blcu.edu.cn/yys/6_beijing/6_beijing_chaxun.asp

⁶中華人民共和国成立後の 1955 年に、全国文字改革会議と現代漢語規範問題学術会議で「普通話」の定義が発表され、翌 1956 年に「普通話を推し広めることに関する指示」が頒布された。現代中国語もこのような影響を深く受けていることを考慮し、1960 年代と 1970 年代生まれの話者による発話データを扱うことにした。

⁷ 選択疑問文の例 (6) は正反疑問文である。

有無に目を向けると、特定疑問文は疑問文全体において5割程度であるが、「啊 (a)」と共起する疑問文に限れば、その7割近くが特定疑問文なのである。「啊 (a)」が用いられると、特定疑問文の割合が20%程度も増すことからみると、語気助詞「啊 (a)」が特定疑問文とよく共起することがわかる。

(8) 各タイプの疑問文に見られる分布 (1)⁸

疑問文のタイプ 範囲	特定疑問	選択疑問	当否疑問	合計
「啊 (a)」と共起する疑問文	39 (68.42%)	8 (14.04%)	10 (17.54%)	57 (100.00%)
疑問文全体	194 (48.87%)	45 (11.34%)	158 (39.80%)	397 (100.00%)

さらに「啊 (a)」が当否疑問文と共起しにくいことも下記の表から見られる。「啊 (a)」と共起する当否疑問文が158例のうちの10例で疑問文全体の6%しか占めていない。それに対して特定疑問文と選択疑問文と共起する割合がそれぞれ20%と18%ぐらいもあり、いずれも1割を超えている。「啊 (a)」と共起する当否疑問文の割合が特定疑問文と選択疑問文の割合に比べて低だけでなく、「啊 (a)」つき疑問文が疑問文全体における割合の14%よりも少なかったのである。

(9) 各タイプの疑問文に見られる分布 (2)

疑問文のタイプ 範囲	特定疑問	選択疑問	当否疑問	合計
「啊 (a)」と共起する疑問文	39	8	10	57
「啊 (a)」と共起しない疑問文	155	37	148	340
疑問文全体	194	45	158	397

2.2 「啊 (a)」が反語文との相性が良い

語気助詞「啊 (a)」と共起する特定疑問文の例を一つ取り出すと、下記のようなものがある。

- (10) 我们 这儿 比方说, 这么 多 户口 吧, 每家儿
 私たち ここ 例えば こんなに 多い 戸籍 ba 各家
 一个 户口, 每家儿 一个 户口, 你 入到 人家
 一個 戸籍 各家 一個 戸籍 あなた 入る ほかの人
 哪家儿, 人 谁 要 你 啊?
 どの家 人 誰 要る あなた a
 (私たちのところに例えばこんなに戸籍があるでしょ、各家に戸籍一つ、各家に戸籍が一つで、あなたがどの家に入ろうとしても、その家の人は誰

⁸例文の数を表にまとめ、括弧にはその数が占める割合を示すことにした。小数点の後は四捨五入計算のため合計で100%にならない場合がある。

もあなたを受け入れようとしませんか?) <BJKY コーパス>

「人谁要你啊?」という疑問では、もし「あなた」がどこの家に戸籍を置こうとしても「誰も受け入れてくれないでしょ」と、話し手が強調している。疑問形式を用いているものの、回答を求めているわけではない。反語文⁹となっている。朱(1995)によれば反語文のかたちは意味とは正反対で、肯定形式(すなわち否定詞を伴わないかたち)が否定を表し、否定形式(すなわち否定詞を伴うかたち)が肯定を表す。正反疑問文が反語文に用いられる場合、かたちの上では肯定と否定が並列されるが、実際の意味は肯定の意味になる¹⁰。

前節の BJKY コーパスのデータで反語文がどれくらいの割合を占めるのかを調べると、以下のような結果となった。

(11) 反語文の割合

疑問文のタイプ 範囲	反語文	非反語文	合計
「啊(a)」と共起するもの	20	37	57
「啊(a)」と共起しないもの	28	312	340
疑問文全体	48	349	397

「啊(a)」と共起する疑問文において反語文が多いことがわかる。(11)で示されるように、「啊(a)」が使用されることで反語文の割合が三分の一近くまでに上がり、57例のうち20例もあった。そのうち例文(12)のような特定疑問文の例もあり、当否疑問文や選択疑問文の例もあった。

(12) 这 话 说 的, 聪明 我 是 自 己 就 知 道, 好好儿
 この 話 いう の 賢い 私 だ 自 分 まさに わかるよく
 干, 好好儿 干 有 什 么 用 啊?
 やる よく やる ある 何 用途 a

(これはこれは、頭がいいというのは自分でも知っているけど、よくやって、よくやっても何の意味もないんじゃない?) <BJKY コーパス>

(13) 看 鸽子 窝。还 有, 这 还 用 说 啊?

⁹ 劉(1992)によると、反語文は疑問の形式をとるが、疑問の意味はなく、また相手に回答を求めることもせず、一つの道理とか事実を説明しようとするものである。さらに反語文を用いるとき、話し手は自分の述べる道理、あるいは事実を疑いをさしはさむ必要がないと思っていることを表す。本稿では広い意味で反語文を取り上げたい。木村・森山(1997:237)に触れたような「話し手に確信があるにもかかわらず、敢えて聞き手の情報に依存して見せて同じ結論を導き出させようとする」もの、「いわゆる反語が強い主張」を反語文とする。

¹⁰ 正反疑問文の例として次のようなものがある。「你说可笑不可笑?(おかしいの、おかしくないのって)」という形で肯定の「おかしい」と否定の「おかしくない」を同じ文に使っているが、肯定である「おかしい」という意味を表す。

見る 鳩 巢 まだ あるこれ まだ 必要 言う a
 (鳩の巢を見て、また...もう言う必要ないでしょ?) <BJKY コーパス>

- (14) 你 瞧 集郵 就, 一张儿 小 邮票儿 就
 あなた 見る 切手集め まさに 一枚 小さい 切手 まさに
 等于 小 相片儿 似的 是 不 是 啊?
 イコール 小さい 写真 みたい だ ない だ a
 (切手集めもそうでしょ、小さな切手一枚がまさに小さな写真のようなもの
 でしょ?) <BJKY コーパス>

2.3 日本語の「ノダ」文と対応する

語気助詞「啊 (a)」が対応する日本語表現を考えるために、CJCS コーパス¹¹ (日中対訳コーパス) を用いて語気助詞「啊 (a)」で終わる疑問文を検索した。その結果、「啊 (a)」で終わる疑問文が対応する日本語文のうち、「ノダ」文が半分近くとなり、高い比率を示していることがわかる。中国語原文での検索の結果と日本語作品の中国語訳で検索した結果をそれぞれ表にまとめると下記の表となる。

(15) 「啊 (a)」に対応する文末形式の分布 (中国語原文からの検索)¹²

文末形式 検索作品	無	か/よ/ ね/な	だろう/ でしょう	ノダ	そのほか	合計
中国語原作	19 (23.17%)	14 (17.07%)	6 (7.32%)	39 (47.56%)	4 (4.88%)	82 (100.00%)

(16) 「啊 (a)」に対応する文末形式の分布 (中国語訳からの検索)

文末形式 検索作品	無	か/よ/ ね/な	だろう/ でしょう	ノダ	そのほか	合計
中国語訳	8 (20.51%)	10 (25.64%)	0 (0.00%)	19 (48.72%)	2 (5.13%)	39 (100.00%)

表 (15) に示されたように、中国語作品とその日本語訳を検索した結果、文末に「啊 (a)」が用いられる 82 例のうち 39 例の日本語訳は「ノダ」¹³文であり、47.56% を占めていることが分かった。また、日本語作品とその中国語訳を検索した結果、「啊 (a)」付きの疑問文 39 例のうち「ノダ」文が 19 例あり、48.72%であった。例えば、「啊 (a)」と「ノダ」の対応例には、以下のようなものがある¹⁴。

¹¹ CJCS は北京日本学研究中心が開発した中日対訳コーパスで、中に文学作品とそれ以外のものを合わせて 150 件ある。中国語の原作から日本語に訳されたものと日本語の原作から中国語に訳されたものの両方が収録されている。また、コーパス自体はネットで公開されておらず、CD で販売されている。

¹² 例文の数を表にまとめたが、括弧にはその数が占める割合を表記している。「無」は名詞か動詞で終わる単純な文を指す。表の左の四分類に入れられないものを「そのほか」でまとめることにした。

¹³ 「ノダ」は、平叙文の文末には、「のだ」「んだ」「のです」「んです」「のである」「の」の形で現れる。これらは基本的に文体差であり、機能はほぼ同じと思われる。質問文では、「んですか?」「の(か)?」という形をとる。このほか、「のかもしれない」「んだろう」「のなら」「んですが」のようにほかの助動詞や接続助詞の前に現れる「の」や「ん」も、「のだ」である。

¹⁴ 例文 (17) は中国語原作を日本語に訳した例文で、例文 (18) は日本語原作を中国語に訳したものである。それぞれ「a」で原作を表記し、「b」で訳文であることを示す。グロス は筆者によるものである。

- (17) a” 无耻 怯懦 的 家伙！ 有 本事 出来
 恥知らず 卑怯 の 者 ある 能力 出てくる
 讲理, 干么 暗箭伤人 啊？”
 議論する なぜ 闇討ち a
- b 「恥知らずの卑怯者！自信があるなら、堂々と出てきて主張しろ、なん
 で闇討ちなんぞしかけてくるんだ？」 <CJCS コーパス>
- (18) a 「ヘディンの本を読みますと、タマリスク（聖柳）という木のことがよく
 出ていますが、どんな木なんですよ。」
- b” 看 胡德 的 书 时, 里边 经常 提到 一种
 見る ヘディン の 本 時 中 よく 触れる 一種
 叫 红柳 的 树, 那 是 什么 树 啊？”
 呼ぶ タマリスク の 木 それ だ 何 木 a
- <CJCS コーパス>

2.4 クイズ番組における「啊（a）」の出現率が非常に低い

疑問文が多く見られる場面を考え、クイズ番組で使用されるものを観察することにした。「中国謎語大会」という中国の番組があり、その第2期に現れる疑問文を抽出した。1時間37分の番組において97例あった。例えば、下記のような例がある。

- (19) 大家 知道 是 什么 字 吗？
 みんな 知る だ 何 漢字 ma
 （これはどのような漢字なのか皆さん知っていますか。）
 <中国謎語大会>
- (20) 想 一 想 呢, 这 是 谁？
 考える 一 考える ne これ だ 誰
 （少し考えてみてね、この人は誰でしょうか。） <中国謎語大会>

文末の語気助詞に注目したところ、「啊（a）」が用いられた疑問文は6例しかないことが分かった。そのうち、反語文が1例で、自問自答が3例であった¹⁵。例えば、

- (21) 成年 是 什么 啊？ 成年 就 是 长 大 了。
 成人 だ 何 a 成人 まさに だ 成長 大きい le
 （「成人」というのは何ですか。「成人」は大人になったということです。）
 <中国謎語大会>

上記で列挙した言語事実で示されるように、「語気が和らぐ」や「相手の意向な

¹⁵残りの2例はあいさつの例であると考えられる。よく使われるあいさつの列をあげるときの発話である。元の発話は「咱们日常生活中有很多日常的用语，比如，你吃了吗？节过得怎么样啊？最近好吗？你心情咋样啊？（われわれの日常生活にもたくさんの日常用語がある。例えば、食べた？祝日どうだった？最近はどう？ご気分はいかがですか？）」というものである。

想像できる。つまり、話し手と聞き手が共有するその答えをより明確にできるほど語気助詞「啊 (a)」との相性が良くなるのである。

一方、「ノダ」に関して菊地 (2000) では以下のようにその基本的な用法をまとめている。

(24) 「のだ」の基本的な用法：

- ①話し手と聞き手とが、ある知識・状況を共有していて、
 - ②それに関連することで、話し手・聞き手のうち一方だけが知っている付加的な情報がある
- という場合に、その一方だけが知っている付加的な情報を他方に提示するときの言い方が「のだ (んです)」(その提示を求めるときの言い方が「のか (んですか)」) である。

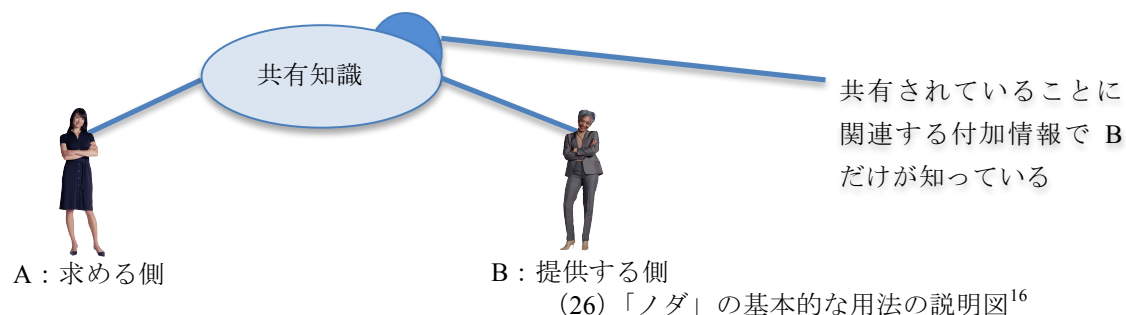
その共有される知識・状況は、文脈で示されていても良いし、言語化されなくても良い。例えば、例 (25) には「B が遅れてきたこと」が会話の参加者 (A と B) に共有されているであろう。

(25) A : どうして遅れたんですか。

B : バスが来なかったんです。

<新矢麻紀子ほか (1998) >

図で表せば、(26) のようになる。



半円が付加情報を示している。A がそれを求め、B がそれを提供することで「ノダ」の発話が成立する。それに対して、語気助詞の「啊 (a)」が使用される背景には話し手が聞き手に対する「想定」または両者のいる話の現場状況、いわば共有する知識や情報が働くように見えるが、聞き手から何かを求めているとは言えない部分がある。言い換えれば、情報や状況の「共有」の提示までしか行っていない。前述の疑問文末語気助詞「啊 (a)」は特定疑問文とよく共起するが、日本語の特定疑問文には「ノダ」が生じる頻度が高い。知識・状況の共有という点に関しては、「啊 (a)」が用いられる場合に話し手と聞き手の共有する「前提」と類似する。「ノダ」の解釈に関連して、このような「前提」を本稿において「共有知識」としたい。

このような「共有知識」の存在を認めることでクイズ番組における語気助詞「啊

¹⁶ 2013 年度菊地康人先生の授業で提示された図を筆者が編集したものである。

(a)」の少なさも理解できるであろう。聞き手に回答を求めるクイズ形式というのは、話し手と聞き手の間に「共有知識」のような前提に基づかない質問が一般的であり、当然語気助詞「啊 (a)」の出現もみられにくい。

4. まとめ

以上の分析で、中国語の語気助詞「啊 (a)」は従来「語気の緩和」や「聞き手意向の確認」などで解釈されてきたが、このような解釈で説明できない言語事実に、話し手と聞き手の間の「共有知識」の存在と、話し手による「共有知識」の提示が関係していることがわかる。

要するに、聞き手の知識状態に関して、話し手が特定の予測または把握をしている。その予測または把握を聞き手に伝えるときに、そのような情報がフォーカスされ、聞き手との「共有知識」が話し手の頭の中で新たにできる。そして、話し手がそのフォーカスされる部分を聞き手に提示する必要または意識があるとき、「啊 (a)」を用いるのである。本稿において、疑問文末の語気助詞「啊 (a)」をその「共有知識」提示のマーカーであると主張する。

しかし、「共有知識」の存在に関して、疑問文末における語気助詞の「啊 (a)」と日本語の「ノダ」の間に類似の部分が存在すると考えられるが、完全に一致するとは言えない。両者の違いはどのようなものなのか、またその違いを語気助詞の解釈に関連付けられるかについては今後の課題にしたい。

参考文献

- 王瓊 (2013) 「現代中国語語気詞「啊 (a)」の疑問文末用法——コーパスに基づく考察」『東京大学言語学論集』第 34 号, 東京大学人文社会系研究科・文学部言語学研究室, pp.211-229.
- 菊地康人 (2000) 「『のだ (んです)』の本質」『東京大学 留学生センター紀要』第 10 号, pp25-51
- 木村英樹・森山卓郎 (1997) 「聞き手情報配慮と文末形式—日中両語を対照して—」『日本語と中国語の対照研究論文集』くろしお出版
- 朱徳熙 (1982) 『語法講義』商務印書館
- 朱徳熙 (1995) 『文法講義』杉村博文・木村英樹 (訳) 白帝社
- 新矢麻紀子ほか (1998) 『みんなの日本語』スリーエーネットワーク
- 張斌 (編) (2010) 『現代漢語描写語法』商務印書館
- 劉月栄 (1992) 『中国語の表現と機能』平松圭子・高橋弥守彦・永吉昭一郎 (訳) 好文出版
- 呂叔湘 (1980) 『現代漢語八百詞』商務印書館